

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」
応用基礎レベル+（プラス）に認定（全国の私立大学では4校、関西の私立大学で唯一）
実社会と連動したAI・データサイエンス教育で社会を支える人材を育成

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田 知弘）では、文部科学省が推進する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、「応用基礎レベル+（プラス）」の認定を受けました。本認定は、数理・データサイエンス・AIに関する教育内容が、より実践的かつ高度な水準で体系的に整備されている大学等に付与されるものです。今回の認定は、全国の私立大学では4校、関西の私立大学では本学が唯一となります。

本学では、本学独自のプログラムとして、配当回生や習熟度に応じて文理問わず学生が主体的に学べる、「たちばなAI・データサイエンスプログラム」を2022年度より開始しました。工学・人文・国際・教育・社会・医療など10学部18学科が一つのキャンパスに集う本学の環境を生かし、学部横断型の数理・データサイエンス・AI教育を実施しています。

その中核的な学びの一つとして、異なる分野を専攻する学生がチームを組み、企業や行政から提示されたテーマに取り組む「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」を実施しています。本授業では、複数のクラスに分かれて課題に取り組んでおり、課題の内容やクラスの特性に応じて、データ活用を含む分析や検討を行う取組を実施しています。全学部の学生を対象とし、これまでに企業や行政など32事業所と連携した学習を進めてきました。

本学が展開する数理・データサイエンス・AI教育は、単に数的処理の技術を学ぶことを目的とするのではなく、AI・データサイエンスを社会の中でどのように活用し、どのような価値を生み出すのかを考える機会として位置づけています。

本学では今後も、地域・産業界との連携を通じて、数理・データサイエンス・AIを実社会の課題解決に生かすことのできる人材の育成を目指し、教育内容の充実と発展に継続して取り組んでいきます。



（認定期限：令和12年3月31日まで）（認定期限：令和12年3月31日まで）（認定期限：令和10年3月31日まで）

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp